# Active all over the world.

## 第95期 事業報告書

2014年4月1日 ▶ 2015年3月31日

TOMAS

TOKYO BOEKI GROUP

# Active all over the world.

東京貿易グループは、「創業の三精神（TOMAS精神）」及び「経営理念」を受け継ぎ、
独立系の事業創造型企業グループとして、“東京貿易グループ連邦経営”を展開しております。

## 創業の三精神（TOMAS精神）

1. 困難に打ち克ち努力する精神
2. 開拓者精神
3. 全員経営の精神

## 経営理念

東京貿易グループは、一人ひとりが仕事を通して夢を実現でき、創造性豊かな会社になる。一人ひとりが誇りを持ち、世界に貢献する会社になる。

### シナジー効果を生み出す「東京貿易グループ連邦経営」

**HEADQUARTERS**
東京貿易ホールディングス株式会社

**エネルギー機械産業グループ**
東京貿易マシナリー株式会社
東京貿易エンジニアリング株式会社
東京貿易メカニクス株式会社

**技術・自動車・情報産業グループ**
東京貿易テクノシステム株式会社
株式会社ティービックス
テービーテック株式会社
TOKYO BOEKI NORTH AMERICA,INC.
TBTS (THAILAND) CO.,LTD.
東京貿易技研（広州）有限公司

**医療・生活・科学産業グループ**
株式会社ティービーアイ
東京貿易メディシス株式会社
東京貿易テクノロジー株式会社
TOKYO BOEKI (RUS) LTD.

**資源・鉄鋼・資材産業グループ**
東京貿易金属株式会社
TOKYO BOEKI (AUSTRALIA) PTY.LTD.
東京貿易（中国）有限公司
東京貿易（北京）有限公司



## 株主の皆様へ
Message to stakeholders

代表取締役会長
五阿弥　英也

代表取締役社長
上田　俊昭

株主の皆様におかれましては日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

東京貿易グループ(TB-G)は、この4月に第四次中期経営計画の新事業年度を開始するにあたり、グループ全体としてより一層の成長を果たすべく世代交代を行い、経営体制を刷新いたしました。

今後とも、東京貿易ホールディングス株式会社ならびに各事業会社間での連携を強め、専門力と事業力を一層高めるとともに、グループの総合力により株主の皆様のご期待にお応え出来るよう努めてまいります。

さて、当社第95期(2014年4月1日～2015年3月31日)の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2014年度における世界経済は、堅調な景気拡大を続ける米国が牽引するも、中国をはじめとする新興国の経済が緩やかな減速を続けていく過程にあり、全体として力強さに欠けるものとなりました

一方、日本経済は消費税引き上げに伴う影響が長引き、第2四半期から2期連続でマイナス成長に落ち込みましたが、比較的良好な雇用環境、原油価格下落や円安による輸出増加などのプラス要因により、秋以降緩やかな持ち直しを見せています。

| | |
|---|---|
| 売上高 | 46,031 百万円（前期比 5.6% 減） |
| 営業利益 | 3,233 百万円（前期比 0.0%） |
| 経常利益 | 3,279 百万円（前期比 5.5% 減） |
| 当期純利益 | 2,229 百万円（前期比 3.9% 増） |

このような経営環境の中、TB-Gにおきましては、「エネルギー機械産業」「技術・自動車・情報産業」「医療・生活・科学産業」「資源・鉄鋼・資材産業」の4グループにおいて、マーケティングから製造、販売、メンテナンスまで一貫して専門性の高い独自の事業・サービスの提供を通じ、企業価値の最大化と永続的な成長発展の実現に努めてまいりました。

この結果、当期の売上高は460億31百万円、経常利益は32億79百万円、と前期に比べ減少したものの、当期純利益は22億29百万円と過去最高益となりました。

期末配当金につきましては、既存事業ならびに新規事業への積極的な投資のための内部留保を確保する一方、株主の皆様への継続的な安定配当を基本とするとともに、TB-G連邦経営がスタートから10年目を迎え新しい経営体制に移行したことを記念し、1株につき普通配当15円に記念配当3円を加え、1株につき合計18円とさせていただきました。

株主の皆様には、長年にわたるご支援に対し心から感謝申し上げるとともに、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

## セグメント別情報 (%は売上高構成比)
Segment Information

### 31% エネルギー機械産業グループ

| | | |
|---|---|---|
| 売上高 | 14,148 百万円 | (前期比 86%) |
| 営業利益 | 2,140 百万円 | (前期比 84%) |

**事業内容**

電力・ガス・石油・石油化学など、エネルギー関連業界向けに流体荷役機械および関連機器、ガス関連各種機械、発電関連機器・装置、環境関連機器などの開発・製造・販売を行っています。主力の流体荷役機械は、東京貿易マシナリーと東京貿易エンジニアリングの製販一貫体制のもと、優れた製品を世界中のユーザーに提供し、高い評価を得ています。

**事業概況**

主力商材のローディングアームが国内シェアを堅持しつつ、さらに政府主導の安全防災対策を追い風に、緊急離脱装置(ERS)の設備投資が促され引き合いが増加しました。また、円安を背景に海外での受注にも注力いたしましたが、世界的な原油安の影響でエネルギー関連企業が設備投資を延期・縮小する動きもあり、売上を伸ばすことにはつながらず、当グループとしては減収減益となりました。

### 17% 技術・自動車・情報産業グループ

| | | |
|---|---|---|
| 売上高 | 7,768 百万円 | (前期比 107%) |
| 営業利益 | 1,138 百万円 | (前期比 121%) |

**事業内容**

主力製品である三次元測定機は、様々な製品の開発造形から製造、検査、完成までの一連のプロセスにおける計測およびデータ処理作業を総合化して提供し、主に自動車メーカーの製品開発力の向上に貢献しています。三次元測定機は、自動化、精密化、そして多様化へと進化を遂げ、世界的評価を得ています。

**事業概況**

メインユーザーである自動車業界が好調であったことから設備関連投資が活発化し、主力の三次元測定関連機器およびソフトウェアの販売を後押ししました。国内外において競合との激しい価格競争にさらされましたが、ハードウェアのみならずデータ解析用のソフトウェアを含めたシステムを前面に拡販に努めた結果、当グループとしては増収増益となりました。

### 26% 医療・生活・科学産業グループ

| | | |
|---|---|---|
| 売上高 | 12,257 百万円 | (前期比 112%) |
| 営業利益 | 928 百万円 | (前期比 120%) |

**事業内容**

住宅用設備機器、医療機器、理科学機器、OA機器、セキュリティ機器など、多岐にわたる製品の開発・製造・販売を行っています。とくに、医療機器分野では、小型の臨床検査用自動分析装置が世界70カ国で販売されるなど、優れた実績を誇ります。今後は、ラインナップの充実や周辺機器の販売など、一層の事業化を進めていきます。

**事業概況**

セキュリティ関連事業においては、食品工場での毒物混入事件に端を発するフードディフェンス対応の影響で、セキュリティカメラの需要が大幅に拡大しました。また、新商品であるデジタルワイヤレスインカムも、新機能を追加しユーザーからの高い評価を得ております。一方、理科学機器関連では、西側諸国による経済制裁の影響を受け、ロシア経済の低迷とルーブルの下落により大幅な減益を余儀なくされましたが、セキュリティ関連事業が好調だったことから、当グループ全体としては増収増益となりました。

### 26% 資源・鉄鋼・資材産業グループ

| | | |
|---|---|---|
| 売上高 | 12,118 百万円 | (前期比 85%) |
| 営業利益 | 145 百万円 | (前期比 121%) |

**事業内容**

独自の事業モデルのもと、製鉄原料・副原料、一般炭、製鉄用耐火レンガなどを鉄鋼・エネルギー業界に供給しています。さらに、自動車用鋼板をはじめとする各種鋼材は、自動車メーカーにとって欠かせない原材料となっています。また、特に耐火レンガにおいては、中国での合弁事業により大きな成果をあげています。

**事業概況**

資材事業は、円安の影響により輸入耐火煉瓦の価格優位性が薄れ苦戦いたしましたが、長年に亘る顧客との信頼関係をベースに増収増益を確保いたしました。
一方で、世界的な資源価格の下落や、中国の過剰生産による鋼材の需給緩和により、資源・鉄鋼事業は大幅な減収減益となりました。当グループとしても大幅な減収となりましたが、コスト削減に取り組み、増益を確保いたしました。

# クローズアップ
Close-up

2015年4月1日付で、東京貿易機械株式会社は「東京貿易マシナリー株式会社」に、
ニイガタ・ローディング・システムズ株式会社は「東京貿易エンジニアリング株式会社」に社名変更を行いました。
また、東京貿易メディシス株式会社が東京貿易マシナリー株式会社より「メディカル機器事業部」を承継いたしました。

##  東京貿易マシナリー株式会社

「東京貿易マシナリー株式会社(TBM)」は、東京貿易グループの中核を担う「事業専門総合商社」として、創造性に富んだ専門力、事業力とグループの結合力をもって、従来以上に高品質で付加価値の高い商品の開発や、マーケティング力を駆使した商品のご提案、徹底したアフターサービスまでの一貫したサービスのご提供に努めてまいります。

##  東京貿易エンジニアリング株式会社

「東京貿易エンジニアリング株式会社(TEN)」は、創業以来安定してエネルギー関連機器を社会に供給するという役割を通じて社会的責任を果たすべく、品質を第一として、ローディングアーム、スイベルジョイント、バタフライバルブの製造、アフターサービスを手掛けてまいりました。

今回の社名変更を機に、全社員一致団結して、新たな気持ちで社業の発展に尽くす所存です。

##  東京貿易メディシス株式会社

### TMSがTBMメディカル機器事業部を事業承継

東京貿易メディシス株式会社(TMS)はTBMより「メディカル機器事業部」を事業承継いたしました。

これまでメディカル関連機器の開発・製造委託はTMS、販売活動はTBMと分かれて行っていましたが、今回の事業承継によって、開発から販売、さらにはアフターサービスまでTMS内で一貫して行う事業体制を確立しました。

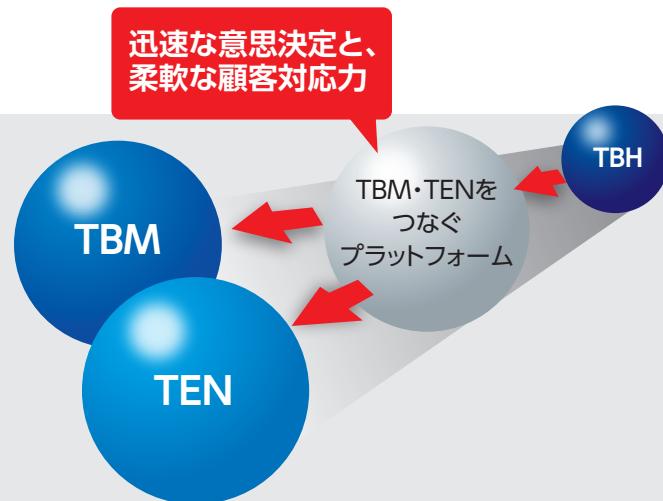
直接お客様と接する営業、サービスマンと開発陣が協働することは、「お客様に満足いただける製品・サービスの提供」を指針として掲げるTMSにとって大きな武器となります。

本事業承継を大きな契機とし、会社の基盤を強化し、更なる事業の発展を果してまいります。

## 《グループ横断プロジェクト》 チクサン製販一元化プロジェクト

「チクサン製販一元化プロジェクト」は、エネルギー機械産業グループの主要事業であるローディングアーム事業を中心に、TENの持つ製造・技術力、TBMの持つ販売・事業開発力を高め、両社の機能を最大化することを目的に進められています。

製造・販売を一元化することで、今まで以上に迅速な意思決定と柔軟な顧客対応力を目指してまいります。

# 連結グループ会社の概要
Consolidated Companies

## 国内グループ会社

**東京貿易マシナリー株式会社(旧社名 東京貿易機械株式会社)**
代表取締役社長:坪内　秀介
事業内容:流体荷役装置および関連機器・各種プラント関連機器の販売

**東京貿易エンジニアリング株式会社(旧社名 ニイガタ・ローディング・システムズ株式会社)**
代表取締役社長:今井　広
事業内容:流体荷役装置の開発・設計・製造・販売・アフターサービス

**東京貿易テクノシステム株式会社**
代表取締役社長:増田　克彦
事業内容:三次元測定機、各種測定機器、各種検査機器、関連ソフトウェアの開発・設計・製造
三次元測定機、関連ソフトウェアの販売・輸出入・保守

**株式会社ティービーアイ**
代表取締役社長:加藤　富弘
事業内容:CCTVシステム機器の輸入並びに販売
CCTVシステム周辺機器の開発・製造および販売
CCTVシステムの設計、施工およびアフターサービス

**東京貿易金属株式会社**
代表取締役社長:重住　寛
事業内容:資源・鉄鋼・資材に係る事業開発および輸出入

**株式会社ティービックス**
代表取締役社長:杉浦　巨陸
事業内容:ソフトウェアの開発および販売、情報処理サービス業並びに情報提供サービス業、
損害保険代理店業、生命保険代理店業、労働者派遣事業

**東京貿易メカニクス株式会社**
代表取締役社長:中山　幸二
事業内容:ガス関連機器販売、同メンテナンス

**東京貿易メディシス株式会社**
代表取締役社長:五阿弥　英也
事業内容:病院、医療検査機関向臨床検査用自動分析装置の開発・製造および販売

**東京貿易テクノロジー株式会社**
代表取締役社長:瀧川　敬司
事業内容:CIS諸国を中心とした教育・科学技術関連施設向理科学機器輸出取引

**テービーテック株式会社**
代表取締役社長:佐分　年治
事業内容:受託ソフトウェア・パッケージソフトウェアの開発、ネットワークシステムの構築、
システムアウトソーシング、コンサルタント業務、人材派遣

## 海外グループ会社

■オーストラリア
**TOKYO BOEKI (AUSTRALIA) PTY.LTD.** (メルボルン)
MANAGING DIRECTOR:重住　寛
事業内容:資源・鉄鋼・資材・建材・機械に係る事業開発および輸出入

■CIS
**TOKYO BOEKI (RUS) LTD.** (モスクワ)
GENERAL DIRECTOR:瀧川　敬司
事業内容:CIS諸国における教育・科学技術関連施設向理科学機器輸出入販売

■アメリカ合衆国
**TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC.** (シンシナティ)
President:水原　弘人
事業内容:三次元測定機および関連ソフトウェアの販売とサービス

■中国
**東京貿易(中国)有限公司** (上海)
董事長:重住　寛
事業内容:資源・鉄鋼・資材に係る事業開発および輸出入

**東京貿易(北京)有限公司** (北京)
董事長:重住　寛
事業内容:資源・鉄鋼・資材に係る事業開発および輸出入

**東京貿易技研(広州)有限公司** (広州)
董事長:杉原　正章
事業内容:三次元測定機および関連ソフトウェアの販売とサービス

■タイ
**TBTS(THAILAND)CO.,LTD.** (バンコク)
MANAGING DIRECTOR:増田　克彦
事業内容:三次元測定機および関連ソフトウェアの販売とサービス

国内グループ
## 東京貿易マシナリー株式会社

### 中部電力株式会社　尾鷲三田火力発電所向 緊急離脱装置（ERS）付ローディングアーム　入船受入完了

中部電力の尾鷲三田火力発電所に設置されていた、約50年前の旧式マリンローディングアームの更新工事を実施いたしました。老朽化機械の更新もさることながら、同火力発電所のある三重県尾鷲市の津波想定高は24.5mと非常に大きいことから、地震・津波などの災害対策仕様の更新提案が受入れられることとなり、2013年10月の既設ローディングアーム撤去から始まり、「12B RCMA-T-FP 2基(ERS付)」の据付が2014年12月上旬に完了しました。その後、第一船入船による荷役が12月24日～25日に行われ、無事に検収を上げ、お客様の期待に応えることが出来ました。

海外グループ
## 東京貿易マシナリー株式会社（マレーシア営業所）

### Tank Storage Asia 2014に出展

日本製のフローティング・ルーフ・タンク関連資材及びローディングアームの海外市場における販売拡大、知名度アップを企図した広報活動の一環として、昨年の9月24～25日にシンガポールのマリーナベイサンズで開催された「Tank Storage Asia」に出展しました。この展示会は、出展内容を油用のタンク及び荷役設備に絞ったものであり、当社のターゲットであるユーザーやエンジニアが多数来場されました。また、ニイガタチクサン製品以外のタンク関連資材のラインナップも充実してきており、今回の展示会には、石油メジャー、中東や東南アジアの石油・化学会社、タンクターミナル貯蔵会社、タンク建設会社など多方面から来場いただきました。

Tank Storage Asia出展ブース

国内グループ
## 東京貿易エンジニアリング株式会社

### 政府指針を追い風に、緊急離脱装置（ERS）の普及・促進を目指す

海上保安庁は、東日本大震災の教訓から2014年3月31日付で「安全防災対策の指針」を改定し、緊急時の荷役停止及び離桟又は離標を迅速かつ容易にするため、緊急切り離し装置等を設備することが望ましいとの報告を出しました。当社は、ローディングアームの先端に取り付け緊急時に緊急離脱カップラ（ERC）を作動させ、数秒でローディングアームをタンカーから安全に切り離せる緊急離脱装置（ERS）を生産しており、今回の指針改定に対応した、既設ローディングアームの大幅な改造が不要なERSを開発しています。
写真はERS付ローディングアームの作動試験の様子です。

ERS付アーム作動試験



国内グループ
## 東京貿易メカニクス株式会社

### 次世代の環境関連機器を創出するチャレンジ企業

当社は、基盤事業のLPG機器および部品販売・同メンテナンスに加え、自社で設計製作する付臭装置、都市ガス特殊ガス業界向けの機器販売が主な事業です。加えて現在は、水素エネルギーに関連する機器の開発に取り組んでいます。2014年12月に燃料電池車「MIRAI」がトヨタ自動車から市販されました。燃料電池車は走行時に有害物質を排出しない環境に配慮したクルマです。2015年には本田技研工業も新型燃料電池車の市販を計画しています。広がる水素エネルギーの需要を受け、水素ステーション向け機器の開発を成功させ、来る水素社会、クリーンエネルギーに貢献する企業を目指しています。

水素ステーションで水素を補給する燃料電池車



国内グループ
## 東京貿易テクノシステム株式会社

海外グループ
## TOKYO BOEKI TECHNO-SYSTEM UK LTD.

### 福岡営業所、TOKYO BOEKI TECHNO-SYSTEM UK LTD.を開設

国内においては、九州への販売ならびに保守サービスの強化のため、福岡営業所を開設しました。海外においては、欧州の保守体制を強化するため、従来の代理店に替わり、英国ノッティンガムに現地法人 TOKYO BOEKI TECHNO-SYSTEM UK LTD.(TTS UK)を設立しました。TOKYO BOEKI (RUS) LTD.のセールスエンジニアとも協力体制を取り、欧州からトルコ、チェコならびにロシアをカバーしていきます。

TTS福岡営業所とメンバー

英国法人TTS UK　オフィス風景



海外グループ
## TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC.

### 戦略商品、新型ベクトロンV6Cの市場投入

トヨタ自動車の北米、欧州、および本社の3拠点と連携して開発を進めておりました、ベクトロンの新型アームモデル「ベクトロンV6C」が完成し、海外市場への投入を開始いたしました。既に、同社の南米海外現地法人向けの受注・納品を果たし、さらにそのグループ会社からも受注しております。
今後は、同社および同グループ会社の他海外現地法人を主要ターゲットとしての営業活動に加え、他自動車メーカーからの受注も目指し、営業活動を展開してまいります。

新型ベクトロンV6C。計測を必要とする現場への移動が可能なポータブルタイプ

海外グループ

## TBTS (THAILAND) CO., LTD.

### 会社発展の礎『人材価値の創造』を目指して

世界の成長センターとして、ASEANは2015年度末の統合（AEC設立）を目指しており、その中心的な役割を担うタイは日系各社の進出も盛んで、特に自動車業界においてはその優れたインフラを背景に、ハブとしての役割を十分果たしていくものと期待されています。
こうした変化の激しい市場において、重要となるのは社員一人ひとりの対応力、考える力です。ルーチン業務をこなすだけでなく、今、求められることは何か。更によい結果を得るために、自分にできることは何か。そうした＋αの能力向上を求めて、全員参加型の改善活動を開始しました。この活動を通じて、各社員が「問題大好き、改善大好き人間」になれれば、本当に強い会社になれると信じています。

社内で「改善活動発表会」を実施

海外グループ

## 東京貿易技研（広州）有限公司

### One Stop Serviceの充実へ

三次元測定機・クレイ加工機の販売が当社のメイン業務ですが、ダイムラー北京デザインスタジオ建設の際、お客様の「美しいスタジオを造りたい」とのご要望に応えるべく、マシンだけでなく床工事も一括受注しました。スタジオの床はコンクリートで施工するのが一般的ですが、本プロジェクトでは人工石をスタジオ全面に敷き詰めることで、ご満足を頂ける結果となりました。お客様のご要望を一手に引き受ける「One Stop Service」の充実をこれからも進めてまいります。

中国のデザインスタジオでは例の無い人工石の床

国内グループ

## 株式会社ティービックス

### 新電話システム導入で業務効率化と通信費の飛躍的削減達成！

2015年3月に東京貿易本社ビルと東京貿易テクノシステム（TTS）厚木事業所に新電話システムを導入し、業務効率の改善と通信費の飛躍的削減を達成しました。

1. 東京貿易本社ビルとTTS厚木事業所のPBXを新モデルに刷新。
2. 固定電話の通信キャリアを１社に束ねることで、飛躍的なコスト削減を実現。
3. 東京貿易本社ビル内の７割をPHSに切り替えることで、移動に伴う工事費の削減。
4. 携帯電話をスマートフォンに置き換えて、Office365との連携を強化。

今後も、新たなソリューションを積極的に導入してまいります。

新電話システム導入の対象スコープ

PHS簡易取扱説明書

国内グループ

## テービーテック株式会社

### 第6回「とよたビジネスフェア」に出展

2015年1月14日〜15日にスカイホール豊田で開催された「とよたビジネスフェア」に出展しました。この展示会は、豊田市、豊田商工会議所主催でトヨタ自動車、デンソーの講演会も催され、燃料電池車「MIRAI」も展示されました。（同時期に豊田市で開催された「環境先進都市国際会議」に参加された世界各国の方々も来場されました。）当社の展示ブースでは、当社商品のみならず、東京貿易エンジニアリングのFDM方式3Dプリンター「K-ZO」によるデモ製作を実施した他、ティービーアイのWi-fi方式のデジタルワイヤレスインカム「クリアトークカム」の双方向通話を体験してもらい、ご好評を頂きました。東京貿易グループ2社の協力で、豊田地区のお客様に新しいテービーテックを知ってもらうことができました。

とよたビジネスフェアのホームページ

とよたビジネスフェアでの展示ブース

国内グループ

## 株式会社ティービーアイ

### SAMSUNG TECHWIN主催 アジア地区代理店総会で表彰

この春、当社は昨年度の販売実績を評価され、タイのチェンマイにて開催されました「アジア地区代理店総会」に招待されました。
代理店総会においては、アジア地区のみならず世界でトップクラスの販売実績を上げたということで加藤社長が表彰を受けると共に、各国の代理店から販売手法等に関し多くの問合せを受け、賞賛のお言葉を頂くことが出来ました。
引き続き世界トップクラスの販売力を維持し、当社の存在感をグローバルにPRしていきたいと考えています。

会議後の懇親パーティーは非常に盛大なものとなりました。

表彰を受けるTBE加藤社長

## 国内グループ 株式会社ティービーアイ

### TB-eyeブランド製品の導入

当社が販売する監視カメラシステム製品は主として韓国SAMSUNG TECHWIN社より導入しております。同社はネットワーク(IP)カメラやレコーダーの新製品開発に積極的です。
当社ではこれを武器として、市場伸長率数%という国内の監視カメラシステムの市場で、アナログシステムから、より高画質、高性能なIPシステムの提案を進め、新たな需要を開拓しております。
また、他にもTB-eyeブランド製品としてのOEM供給を受ける体制を構築しました。
今後は、TB-eyeブランドの浸透・拡販を推し進める方針です。
そのトップモデルとして屋外ハウジング一体型IR LEDカメラを3月に製品化いたしました。

新製品　屋外ハウジング一体型IR LEDカメラ
SCO-5083RN/TE

## 国内グループ 東京貿易メディシス株式会社

### 生化学自動分析装置、新製品開発の最終段階へ

累計販売台数が5,900台以上という実績を誇る主力機種「ビオリス24i」シリーズの後継機種「ビオリス30i」の試作機が完成し、開発の最終段階に入りました。
基本コンセプトである「コンパクトで高性能・高品質」を継承しながら、処理速度の向上や一度に検査できる試薬数の増加等、機能をより向上させた新製品を2015年度中に販売開始の予定です。
TBMからのメディカル機器事業部承継により、製品開発から販売、アフターサービスまでのトータルサービスが可能となりました。全社員が一丸となりお客様視点に立って事業を展開し、世界の医療と人々の健康に貢献してまいります。

主力機種「ビオリス24i」
世界70ヵ国の医療現場で活躍

新製品「ビオリス30i」試作機が完成
2015年度中に販売開始予定

## 国内グループ 東京貿易テクノロジー株式会社
## 海外グループ TOKYO BOEKI(RUS) LTD.

### 第70回日本顕微鏡学会でモスクワ大学との共同ブースを出展

第70回日本顕微鏡学会に日本電子・東京大学とタッグを組んで参加し、モスクワ大学と共同で電子顕微鏡を用いた研究に関するブース展示を行いました。
同学会にはモスクワ大学からホフロフ副学長をはじめ教授、研究者4名を招聘しました。ホフロフ副学長は記念レセプションでの特別スピーチの中で、当社と日本電子とのロシアにおける活動に関して触れられました。同学会への参加により、日本とロシアの大学・研究機関のアカデミック・ビジネスマッチングを行いました。当社がこれまで進めてきたロシア国立大学を核とした理科学機器販売のビジネスモデルを更に進化させ、ビジネス領域を拡大してまいります。

日本顕微鏡学会での
モスクワ大学との共同ブース

モスクワ大学ホフロフ副学長を
囲んでの懇談(記念レセプション)





## 国内グループ 東京貿易金属株式会社

### インドネシア・ティラ社と『戦略的パートナーシップ合意書』を締結

当社は2014年8月にインドネシア・ティラ・オーステナイト(以下ティラ)と戦略的パートナーシップ合意書を締結いたしました。ティラはインドネシアの複合企業シンテサ・グループの中核企業で、特殊鋼材、産業用ガスなどを取り扱う業界大手の資機材商社です。3年前より当社ジャカルタ事務所とともにインドネシアの資源・エネルギー、インフラ関連企業向け鋼材の市場開拓を進めてきました。今後ティラとはインドネシアでの新規事業の立ち上げを計画しており、事業拡大に向けて戦略的パートナーシップ関係の増進に積極的に取り組んでまいります。

戦略的パートナーシップ合意書の取り交わし
(東京貿易金属本社にて)

## 海外グループ TOKYO BOEKI (AUSTRALIA) PTY. LTD.

### 豪州合金鉄メーカー向け中国製Nut Coke成約

豪州の資源大手傘下の合金鉄メーカー向けに中国製Nut Cokeの成約を実現いたしました。納入実績、製造設備、能力、原料炭の供給元まで踏み込む厳しい合金鉄メーカーの審査に合格し、昨年度初めて10,000トンを成約。中国の工場から合金鉄メーカーの倉庫まで一貫した当社の品質管理に対する姿勢が高く評価され、年間120,000トン使用する同社のサプライヤーリスト入りを実現しました。今後の安定取引、シェア拡大に努めるとともに、豪州資源大手のグループ他社への供給拡大を目指してまいります。

Nut Cokeの積地検品(中国連雲港)

## 海外グループ 東京貿易(中国)有限公司

### 耐摩耗アルミナセラミックス製品の新規開発

耐摩耗アルミナセラミックス製品は、製鉄所・発電所・鉱山設備における粒体物配管内の摩耗しやすい箇所に使用されます。日本市場では従来、日本製セラミックスが市場を占めておりましたが、今般、当社が紹介する中国製アルミナセラミックスの耐摩耗性と形状精度が評価され、品質が重要視される発電所向けに中国製スリーブ部品(配管部品)を受注いたしました。この受注を契機に、日本市場で中国製アルミナセラミックスの拡販を進めてまいります。

製品例：
耐摩耗波状スリーブ

製品例：
耐摩耗部品

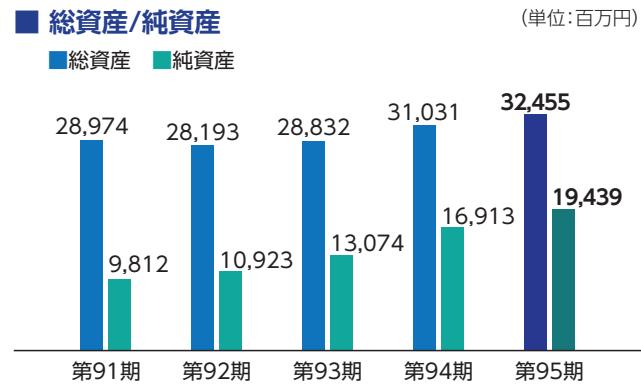
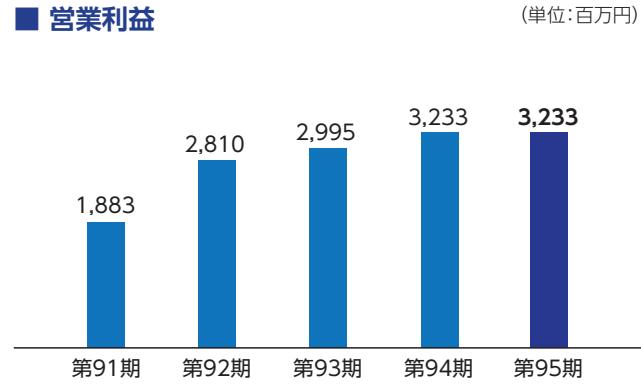
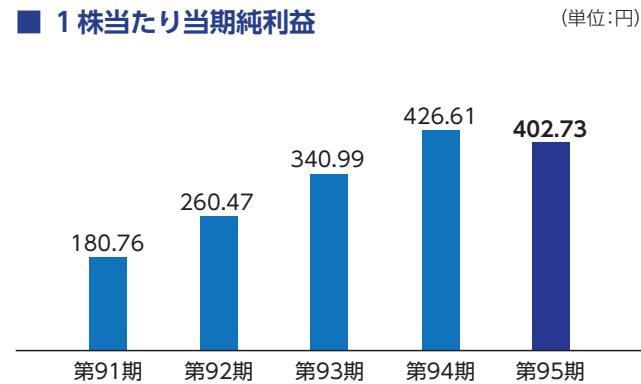
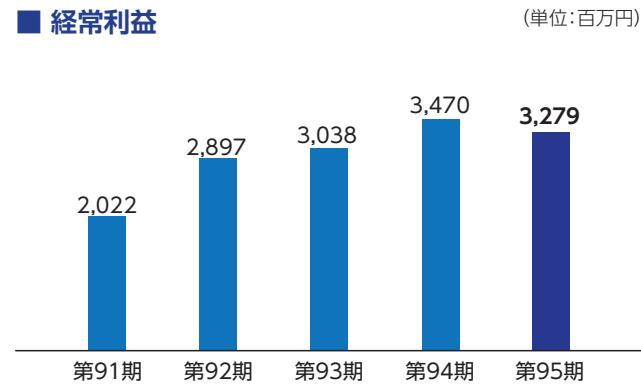
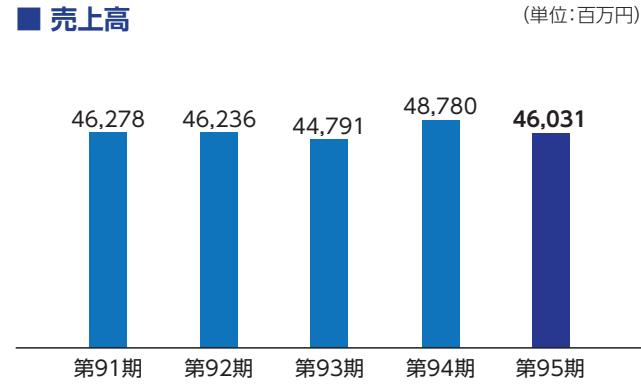
## 海外グループ 東京貿易(北京)有限公司

### 日本向けコークス炉建設案件初受注

製銑コークス炉の蓄熱室用珪石耐火煉瓦と炉蓋および炉頂用耐火プレキャストブロックを初受注しました。これらは中国の有力耐火物メーカー2社の高品位耐火物で、大手日本鉄鋼メーカーに品質を認められました。珪石煉瓦は、コークス炉熱間補修用として継続受注が見込まれます。耐火プレキャストブロックは、熱間補修のみならず更新建設用の大型受注も成約しました。今後は製鉄用の取鍋や転炉用耐火煉瓦だけでなく、コークス炉をも含めた製銑設備用耐火物の拡販にも注力していきます。

コークス炉用耐火煉瓦は
熱間の容積安定性に優れている珪石煉瓦

# 決算の概要
Financial Review

## 決算ハイライト

## 連結財務諸表

### ■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目 | 当 期 2015年3月31日現在 | 前 期 2014年3月31日現在 |
|---|---|---|
| **資産の部** | | |
| 流動資産 | 25,157 | 23,965 |
| 固定資産 | 7,298 | 7,066 |
| 有形固定資産 | 2,393 | 2,367 |
| 無形固定資産 | 585 | 779 |
| 投資その他の資産 | 4,319 | 3,918 |
| 資産合計 | 32,455 | 31,031 |
| **負債の部** | | |
| 流動負債 | 11,885 | 11,973 |
| 固定負債 | 1,129 | 2,144 |
| 負債合計 | 13,015 | 14,118 |
| **純資産の部** | | |
| 株主資本 | 18,481 | 16,541 |
| 資本金 | 5,000 | 5,000 |
| 利益剰余金 | 13,673 | 11,733 |
| 自己株式 | △ 191 | △ 191 |
| その他の包括利益累計額 | 801 | 259 |
| 少数株主持分 | 156 | 112 |
| 純資産合計 | 19,439 | 16,913 |
| 負債・純資産合計 | 32,455 | 31,031 |

### ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 当 期 2014年4月 1日～2015年3月31日 | 前 期 2013年4月 1日～2014年3月31日 |
|---|---|---|
| 売上高 | 46,031 | 48,780 |
| 売上原価 | 33,630 | 36,266 |
| 売上総利益 | 12,401 | 12,514 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,167 | 9,280 |
| 営業利益 | 3,233 | 3,233 |
| 営業外収益 | 217 | 275 |
| 営業外費用 | 172 | 39 |
| 経常利益 | 3,279 | 3,470 |
| 特別利益 | 70 | 331 |
| 特別損失 | 42 | 43 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,307 | 3,757 |
| 法人税等 | 1,053 | 1,579 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 2,254 | 2,177 |
| 少数株主利益 | 24 | 31 |
| 当期純利益 | 2,229 | 2,146 |

## ■ 会社概要(2015年3月31日現在)

| | |
|---|---|
| 東京貿易グループ | 東京貿易ホールディングス株式会社<br>及びグループ19社 |
| 設　立 | 1947年(昭和22年)10月30日 |
| 資 本 金 | 50億円(株主資本184億円) |
| 従 業 員 | 927名 |
| 本　社<br>(純粋持株会社) | 東京貿易ホールディングス株式会社<br>〒104-8510<br>東京都中央区八丁堀2丁目13番8号 |

## ■ 東京貿易ホールディングス株式会社 役員紹介(2015年6月26日現在)

**取締役**

| | |
|---|---|
| 取締役最高顧問 | 町田　弘 |
| 代表取締役会長 | 五阿弥 英也 |
| 代表取締役社長 | 上田 俊昭 |
| 取締役副社長 | 加藤 富弘 |
| 専務取締役 | 木田 郁朗 |

**監査役**

| | |
|---|---|
| 常勤監査役 | 毛塚 利彦 |
| 監査役 | 伊藤 宣實 |
| 監査役 | 沼田 安弘 |

## ■ 株式の状況(2015年3月31日現在)

| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 38,519,920株 |
| 発行済株式総数 | 普通株式 5,045,165株 |
| | A種優先株式 1,700,000株 |
| 株主数 | 122名 |

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|---|---|---|
| 東京貿易株式会社 | 1,700千株 | 25.20% |
| 東貿持株会 | 831千株 | 12.33% |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 498千株 | 7.38% |
| トーア再保険株式会社 | 408千株 | 6.05% |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 249千株 | 3.69% |
| 日本生命保険相互会社 | 120千株 | 1.78% |

※ 東京貿易株式会社の1,700千株についてはA種優先株式になります。

### 当社グループ ホームページのご案内

ホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介など様々なコンテンツを掲載しております。
http://www.tokyo-boeki.co.jp/

東京貿易グループ
〒104-8510　東京都中央区八丁堀2丁目13番8号
TEL：03-3555-7211　FAX：03-3555-7079